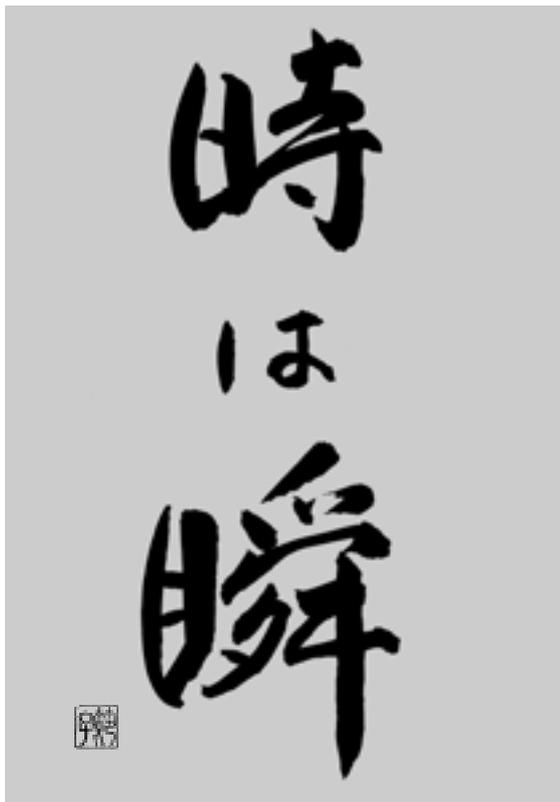


「今月の言葉」春、よし！今年も元気にスタートだと思ひ、夏、あゝ猛暑でやる気も失われ体力持つかと思ひ、秋、この一年とどこか病気になるたのでと身を案じ、冬、今年も生き長らえたと感謝した。こう繰り返してばかりの人生だった。暦が一枚になり、又、今年も何とか元気で生切れたと感謝。「健康で有難い」この素朴な願いを来年も頂ければ人生全て良しとしよう。人には刻々と迫る終わる道があることを、確かと受け止め役割を果たそう。〔文／表紙 遠藤節子〕



【絶対の基本理念】 最終目標であるホスピス建設に向け、新たな歩みを踏み出した私たちの絶対の基本理念として明文化し、支援の拠りどころと致します。

無私(私が、私がの心のないこと)
愛(大切にする心、思いやる心)
内省(深く自分をかえりみること)

12

月号

2009年12月15日発行
VOL.11 NO.12
(通巻110)

役員研修の実施(老人ホーム視察)

TSK おりいぶ人



社会福祉法人 ^{あいとく} 愛篤福祉会・^{おりいぶ} 工房阿列布
〒973-8407 いわき市内郷宮町峰根 65-187
TEL.0246-36-3944 FAX.0246-36-3922
e-mail : olive-f@amber.plala.or.jp

千
草
群
像

2つの感動

遠藤節子 (工房阿列布管理者)

気がつけばもう暦1枚。

もうすぐクリスマスだ。亜流大国日本ならではの盛り上がりだが事業所では、クリスマスにいつも1枚の絵が飾られる。神戸在住の日本画家、根本佳観がイタリアに赴き、レオナルドダビンチのマリア像はイタリアフレンチで模写してきたものだ。今年はある若者から彫刻家、船越保武氏の「ゴルゴタ」の模写がプレゼントされた。この胸像は船越保武氏が脳梗塞を患い、車椅子生活の中、左手のみで制作されたものだ。この時のことを親友である彫刻家の佐藤忠良氏は、彫刻家船越の迫力、執念の様子を熱く語られた。ある機会に恵まれ、私は世田谷のアトリエで佐藤忠良氏のお話を聞くことができた。(8年くらい前)傍らには、女性の全身像がボッキリ折れ、粘土が無残に崩れ落ちていた。自らを肉体労働者と言ひ、失望の中にも再挑戦の意欲、体力を垣間見た。改めて「世

界の忠良」の威厳、気骨を見たような気がした。船越保武氏の「ゴルゴタ」は、その当時テレビで観て感動し今も頭を離れない。キリストの胸像にかけける思い、荒削りな迫力は額に十字を入れて完成とした。模写とはいえ、その胸像が手元に来た。

紙一重の荒削りの有り様を出すには制作者の遠慮が細部に感じ取れた。しかし今年1番の感動の頂き物であった。

クリスマス、「ゴルゴタ」は廊下にひっそり置かれることだろう。障がいのある子らの姿を「ゴルゴタのキリスト」の化身と捉え、何を為すべきかを再考したい。そして今年もう一つの感動、華やかな津軽三味線、ヴァイオリンのチャリティーコンサートを開催。奏者の福祉に対する「優しい愛」を感じつつ、来年につなげて行きたいと思った。本年も皆様に大変お世話になりました。深謝。

TSK
おりいぶ人
1部 ¥100
(会員は会費に含む)

毎月15日発行
編集者 〒973-8407 福島県いわき市内郷宮町峰根65-187
社会福祉法人愛篤福祉会 工房阿列布
発行所 〒981-0907
宮城県仙台市青葉区高松1-4-10
東北障害者団体定期刊行物協会

おりいぶ1号館 〒970-1151 いわき市好間町下好間字鬼越24-10 TEL.0246-36-3976・FAX.0246-36-3986
茶房おりいぶ 〒970-8026 いわき市平字中町7-2 TEL・FAX.0246-25-3977

おりいぶ後援会は、工房 阿列布を市民の立場から物心両面で支援するボランティア団体です。

一泊旅行に行ってきました。



十一月二十六日、二十七日の二日間、東京デイズニerlandへ旅行に出かけてきました。とても

天候に恵まれ、楽しく過ごすことが、出来ました。デイズニerlandでは、パレードを見たり、ちよつと高めの食事を楽しみ、お土産もたくさん買いました。みんな疲れたのか帰りのバスの中はみんな寝ていてとても静かでした。



特養を視察(役員研修)

今年度の法人役員研修の一環として、茨城県笠間市にある特別養護老人ホーム「ヴィレレッジかさま」への視察を行いました。

「親亡きあとの施設」の在り方を検討するために、快適な居住スペースの確保や夜間ケアの方法、介護保険制度など現在の阿列布とは違った施設運営の説明やご苦労されている点などのお話をお聞きすることが出来が、今後の事業の推進に大変参考になりました。

クリスマスツリー 点灯



クリスマスまで一ヶ月になり町の中にもクリスマスムードが高まってきた十一月二十四日、阿列布でも、ツリーの飾り付けを行いました。



自分の身長より大きなツリーに、イルミネーションを付け、スイッチを入れるとピカピカと点滅して、とてもきれいでした。来所されるお客様にも見て頂こうとツリーは、正面玄関に設置してあります。

「障がい者作品展」開催

十二月八日、いわき市の障害者週間記念事業「障がい者作品展」が開催されました。

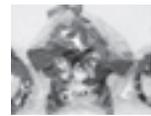
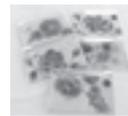
市内の養護学校や各事業所などに通う皆さんの作品が展示されています。

期間は十二月十五日まで。ヨークベニマル谷川瀬店2階催事場で行われています。お時間がありましたら、是非、お出かけください。



うれしい クリスマスプレゼント

十二月十日、クリスマスを前に手作りのクリスマスリースやアームバンド、手書きの素晴らしい絵が描かれたペンケースなどの思いがけないプレゼントが届きました。山岸様、梶山様ありがとうございました。ありがとうございます。この作品は、コンサート当日、ロビーにて販売させていただきます。



平成22年 新年会のご案内

新春恒例の愛篤福祉会・おりいぶ後援会新年会を下記の日程にて行います。皆様是非お越しください。

日時：平成22年1月9日(土)
午後4時30分 開宴
※受付は午後4時より開始いたします。
場所：カルチエド・シャンブリアン(旧うおしん)
会費：6,000円

寄附者名簿(物品寄附含む) 平成21年12月

- 矢口紘子様、小林誠子様、羽場智久様、遠藤睦子様、坂本フミ様、石井好子様、山岸和子様、梶山ゆふ子様、涌井祐美様、福室洋子様、深田まさえ様、常磐パッケージ(株)様

今年の暦ももう一枚となり、残りわずかとなりました。皆様には本年も大変お世話になりました。誠にありがとうございました。